



学院の近況

初夏の候、皆様いかがお過ごしでしょうか。

新年度に入り、早くも2か月が過ぎたところです。

さて、今年度の学生数は、新入生は5名、2年生は4名、3年生は6名の合計15名であり、職員体制は、学院長、副学院長（教務）、副学院長兼事務長、教員8名（教務主幹1名、教務主査1名、講師6名）、事務主事1名、会計年度任用職員1名（教務補助）の合計13名となっています。

入学生は、昨年度と比べ1名増加しましたが、道内の看護師養成施設（3年課程）では、少子化や大学志向の高まりなどの影響を受け、定員充足率の低下が続いている中、本学院は平均を大幅に下回っている状況が続いています。

学生数が少ないことで個別に丁寧な指導が行えるといったメリットがある一方で、少人数では演習形式の授業が難しいという課題があることから、学年を越えた学生間の交流や地域活動への参加などを通じ、学生の学びが深まるよう更に工夫を重ねていきたいと考えています。

当学院の主な課題である「学生確保対策」と「少人数教育への対応」について、今年度から新たな取り組みを行うこととしています。

【学生確保対策】

- ▶ 入試制度の見直し
 - ・指定校推薦の導入
 - ・社会人入試の回数増（1回→2回） など

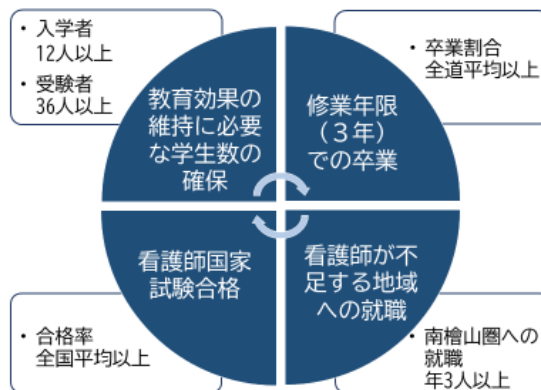
【少人数教育への対応】

- ▶ 道立高看の学生間の交流
- ▶ 最新の生体シミュレーターの導入（演習用）

学院を取り巻く環境は非常に厳しい状況が続いておりますが、令和7年度学校関係者評価会議（R7.6.3開催）で承認いただいた重点目標を踏まえつつ、地域に開かれた学院運営に努めてまいりますので、引き続き、保護者の皆様、地域の関係者の方々のご理解とご協力をお願いします。

（学院長：夕下 司）

令和7年度重点目標



4/1付けで新しく着任した職員を紹介します

【副学院長兼事務長 岸部 圭介】

4月に保健福祉部医務業務課より赴任しました。学院勤務は初めてですが、学生が安心して学ぶことができるよう取り組んでいきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

【講師 武田 いずみ】

旭川高看助産学科からの異動で着任しました。学生の皆さんが看護のおもしろさを感じながら成長していけるよう学習環境を整えていきたいと思っています。よろしくお願いいたします。

【主事（事務） 金子 紘都】

4/1付けで道職員として採用され、江差高看に配置となりました。在学証明書の発行等の庶務や会計事務を担当します。函館市出身で趣味はサッカーです。よろしくお願いいたします。

【講師 中井 史世】

函館市出身です。子供の頃、毎年家族や友人とかもめ島に海水浴に来ていました。銭湯に寄るのも楽しみの一つでした。地域・在宅看護論を担当致します。よろしくお願いいたします。

令和7年度 学校関係者評価会議を開催しました

「北海道立江差高等看護学院における学校評価に関する規程」に基づき、下記のとおり開催しました。

- 日時 令和7年6月3日（火） 15時～16時10分
- 場所 江差高等看護学院
- 構成員 学識経験者、保健医療福祉関係者、教育関係者、保護者、学生、同窓生、地域住民等
- 内容 令和6年度自己評価結果、令和7年度重点目標、地域型オープンキャンパス企画案

12名中の10名の構成員の方々にお集まりいただき開催しました。座長である齋藤教授（北海道教育大学函館校）の進行の下、令和6年度自己評価結果等を報告し、構成員の皆様からは、「地元高校と連携した取組みの実施」、「経済的なメリットを幅広く発信」、「卒業生への支援の充実」などのご意見があり、令和7年度重点目標を承認いただきました。

こうした様々なご意見は、今後の学院運営に反映させてまいります。（学院長：夕下 司）

■学院生活に関する学生アンケート結果報告■

令和7年2月に実施したアンケートの結果をお知らせします。

実施期間 R7. 2. 18～27 回答数16人（回答率94%）	
【1】学院生活が充実しているか（楽しい、まあ楽しい）	13人（81%）
【2】自分自身に満足しているか（そう思う、どちらかと言えばそう思う）	12人（75%）
【3】自分が役に立っていると感じるか（そう思う、どちらかといえば思う）	12人（75%）
【4】今の自分が好きか（そう思う、どちらかと言えばそう思う）	13人（81%）
【5】教職員の対応で不快に感じたことがあったか	なかった 16人（100%） あった 0人（0%）
【6】ハラスメント相談員を知っている	16人（100%）

令和6年度は、7月と2月の計2回実施し、結果（回答）については、学院生活の満足度は約8～9割、自己肯定感は8割前後で推移しており、また、「教職員の対応で不快に感じたことがあったか」の設問に対し、「あった」と回答した学生はおりませんでした。

今年度も引き続き、学生が安心して学ぶことができる環境を確保するため、学生やご家族の皆様とのコミュニケーションを十分に図りながら、様々な取組を着実に進めてまいります。

（学院長：夕下 司）

ボランティア活動・地域との連携

5月21日に江差町の「ネクストイノベーション」（ネクイベ）に学生2名、教職員3名で参加しました。今年度も、学院として「きずなプロジェクト（色々な人が交流できる場を作る）」、「命を守るプロジェクト（災害時の対策の検討）」を中心に活動していきたいと思っております。学院からは、7月26日（土）開催予定の「江差高看まつり（地域型オープンキャンパス）」についてお知らせし、ネクイベの各プロジェクトのご協力を依頼しました。地域との連携の継続に向け、学生にも参加してもらいながら、引き続き取組を実施していきます。

【今年度のボランティア活動（案）】

かもめ島定期清掃（毎月第3水曜日）、江差高校体育祭（救護班）など

（副学院長兼事務長：岸部圭介）

1年生

この度、1年生の担任になりました臺坂（だいさか）です。

今年度は、本学院に5名の学生が入学してくれました。早いもので入学してから1ヶ月が経ち、学生達は、ガイダンスや行事をとおして、少しずつ看護学校生活に慣れてきたところです。

4月に行われた新入生歓迎会では、自己紹介やソフトバレー大会をとおして、先輩たちと交流を深めることができました。また、お昼休みには、先輩たちや学校職員とソフトバレーやソフトボールをして、笑顔と笑い声で学院は活気づいています。

4月下旬から、専門的な科目も続々と開講していますが、「難しい、難しい」と言いながらも、休憩時間や放課後に自主的に学習する姿が見られ、クラス間だけでなく、上級生にも良い刺激を与えています。クラスの雰囲気は、お互いを気遣う温かいムードで、「看護師になるためにこの学校にきたから・・・」と主体的に行動する学生も多く、目的意識の高さに日々驚いています。

この真摯な思いを大切に、心理的安全性を保ち大事に育てていきたいと思ひます。1年間、どうぞよろしくお願い致します。

《1学年担当：臺坂恵子》

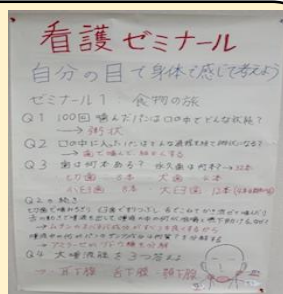


2年生

2年生は、【クラス目標】「生活リズムを十分に整えるような学習を計画し、実行する!!」を掲げて、1年次、一夜漬けの学習による生活リズムの乱れと学習不足を解消すべく新年度をスタートさせました。

国家試験対策の一つである朝学習の取り組み方を見直し、国家試験模擬試験の年間計画も立てました。2年生は看護過程展開を行う臨地実習も2回あります。患者さんへ安全安楽な技術を提供できるように、技術練習も開始する予定です。

HRでは、自分の身体を使って解剖生理学を学べるような体験型の学習「自分の目で、身体で感じて考えよう!!」をシリーズで開始しました。第1回は「食物の旅」として、パンを頑張って100回噛んで、口の中はどんな状態？唾液のアミラーゼやムチンの働きによって飲み込みやすい状態に細かく、更にツルンとまとめられます。かみ砕く時の門歯や臼歯の役割、舌の働き、唾液腺の名称とどの場所に存在して、なぜ唾液が出るのか、飲み込んだパンは、どこをどう通って排泄されるのか、クイズ形式で学習しました。まだまだ旅は始まったばかりです。《2学年担当：金田いづみ》



3年生

最終学年となり、3年間の学びを発揮する領域実習が始まりました。

実習は5月～10月にわたり、江差町、八雲町、函館市、札幌市で行われます。

実習は座学と違い、臨床場面から学べることや充実感・達成感も多いですが、悩んだり困難に感じることもあると思います。そんなときには1人で抱え込まず、クラスメイトや教員を頼って欲しいと思います。「看護師になりたい!」という共通の目標を持った6人だからこそ、お互いの弱み・強みを認めあい、チームとして連携・協力して欲しいと思います。

また、国家試験におけた学習も始まっています。

全員合格に向け、教員の担当制による個別指導も開始しました。

学習を進める主体は学生ですが、教職員一丸となり伴走者として支援できればと考えています。

今年度もよろしくお願いいたします。

《3学年担当：竹田里美》

▼「実習頑張るぞー!会」を開催しました!!



▲お互いに応援メッセージを送り合いました(^_^)

「江差高看まつり」を開催します！

今年度の地域型オープンキャンパス「江差高看まつり」は、7月26日（土）に開催予定です。

地域の方々にも参加していただく形での開催は、今年で3年目となります。

今回も地域の関係機関・団体のご協力をいただき、お子様からご高齢の方まで、幅広い世代の方々楽しんでもらえるような企画を考えています。

江差高看に興味のある方、将来看護師を目指している方、お近くにお買い物等で用事のある方など、多くの方々のご来場をお待ちしています。

※詳細は、ホームページ等でお知らせします。

（学院長：夕下 司）



汐音(しおね)寮から

今年度の寮生は7名です。

寮内での食事提供を昨年度末で終了したことから、寮生の意見を聞き、自炊しやすくなるように冷蔵庫、炊飯器、電子レンジ、IHコンロ、オーブンレンジ等を設置しました。

また、隣接する道立江差病院レストラン（営業時間 平日 8:00～17:00）を利用できます。

健康的な学院生活を送るためには、バランスの取れた食事が重要です。ご家族のサポートをよろしくお願いいたします。

（寮担当：金田いづみ）



ハラスメント相談員

学生の皆さんがハラスメントと思われることを受けた場合や、他の人が受けている場面を見た場合は、「ハラスメント相談員」に相談してください。※誰に相談しても結構です。

【学院内】佐々木副学院長
岸部副学院長兼事務長

【道 庁】保健福祉部医務薬務課
事務職：狩野（かりの）主幹
保健師：鹿野（かの）課長補佐
●TEL 011-204-5251（直通）

目安箱

学生の皆さんからの意見、提案、要望、質問等を積極的に聞き、内容に応じて改善に向けた検討を行います。

教員に直接言いづらいような意見等がある場合は、正面玄関入口付近に設置の「目安箱」に投函してください。
※学院長が管理



スクールカウンセリングについて

～ 教員と連携し学生の皆様の
学生生活をサポートします ～

- 日程 オンライン 6/19（木）、7/10（木） 16:30～18:00
対面面談 6/5（木） 13:30～17:30
全員面談 7/24（木） ※3年生（3名）、1年生

●予約優先ですが、空いていれば予約なしの相談もできます。

予約専用メール sc.soudan@gmail.com

①氏名、②学年、③連絡先Tel、④希望日時、⑤希望方法、⑥相談内容



スクールカウンセラー
諏訪(すわ)先生